

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆうごー			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの健康や発達状況について、保護者の方と共通理解できている。	毎回送迎時に家庭や園での様子を聞き、また事業所での活動の様子を伝え、共通理解に努めている。	引き続き、保護者の方とコミュニケーションを密に取ることを心がける。
2	子どもは安心感を持って通所している。また通所を楽しみにしている。	事前に活動内容を知らせたり、興味を持てるプログラムを提供し、安心出来る環境整備を心がける。	引き続き、安心して取り組める環境づくりを心がける。保護者の方と連携を取る
3	清潔で、心地よく過ごせる環境になっており、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	毎回の掃除・消毒だけでなく、年に数回の大掃除を実施し、設備の確認を行っている。また、子どもが安心して取り組める広さを確保している。	個に応じた備品教材を用意し心地よい環境作りを心がける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他の地域で、他の子どもと活動する機会。	活動の中で、地域の公園へ行ったり、外部でのイベントに参加したりするなど関わりはあるものの、上手くお知らせができていなかった。	保護者の方に口頭で伝えたり、日々の日誌やお便りを使って、よりわかりやすく伝えていく。
2	保護者同士の交流の機会を設けるなどの支援。 また、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援。	保護者の会は年6回設けており、お便りで案内を出しているが、上手くお知らせができていなかった。きょうだいの事は気にかけていたが、交流の場は設けられていなかった。	保護者の会の開催日時を再考し個々にも声掛けをしていく。保護者のニーズを聞き必要に応じて、きょうだい同士の交流できる機会が設けられるか考えていく。
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難・その他必要な訓練。	一年を通じ震災訓練、火災訓練、水難訓練を行っているが、保護者の方にわかりやすく伝えられていなかった。	事前にも保護者の方に口頭で伝えたり、日々の日誌やお便りを使って、よりわかりやすく伝えていく。